

講義名	英語発音クリニック			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要
最近のWorld Englishesの考え方を踏まえて、知識とともに実践を交えて聞き取りと発音の両面からICTを利用した訓練を行い、受講生がそれぞれに納得できるレベルの英語発音の習得を目指します。

到達目標
1. 発音記号が読めるようになる。
2. 英語と日本語の音韻体系の違いが分かるようになる。
3. 日本人発音にとって音韻が難しい音韻の聞き取り・発音ができるようになる。
4. 英語のリスム・イントネーションが表現できるようになる。

提出課題
・オンラインでの課題提出を求めています(録音を含む)。
・ディクテーション課題

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法
オンラインでの課題提出について、講義中に全体的な解説を加えます。

評価の基準
出席状況、授業中の活動状況、ディクテーションおよび提出課題などの平常点を60%とします。定期試験の得点を40%とします。

履修にあたっての注意・助言他
授業には積極的に参加してください。
規定以上の出席欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。
講義外での学習・練習も必要です。

教科書	.文レベルで徹底 英語発音トレーニング.	牧野武彦	研究社	2420	9784327453060
	.音読練習用アプリ(有料・初回講義で指示).				

参考文献	.なし.				

その他
授業中に適宜資料を配布する。

- 授業計画**
1. ガイダンス
 2. 理論編(1)・実践編(1)
 3. 理論編(2)・実践編(2)
 4. 理論編(3)・実践編(3)
 5. 理論編(4)・実践編(4)
 6. 理論編(5)・実践編(5)
 7. 理論編(6)・実践編(6)
 8. 理論編(7)・実践編(7)
 9. 理論編(8)・実践編(8)
 10. 理論編(9)・実践編(9)
 11. 理論編(10)・実践編(10)
 12. 理論編(11)・実践編(11)
 13. 理論編(12)・実践編(12)
 14. 理論編(13)・実践編(13)
 15. 理論編(14)・実践編(14)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習: 自由に指定するテキストの範囲を読み、要点をまとめておくこと。単語の読みを確認しておくこと(2時間程度)
復習: 毎回の範囲の音読練習(2時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」とようになるために英語発音に関する基礎的知識を身につけ、情報分析力・課題発見力を伸ばすとともに、特に経済学部生に求められる「人間・社会に関するこれまでの学術的成業の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
教材配布・小テスト・期末試験の実施にはLMSを利用する予定です。

実務経験の有無及び活用

備考